NIE
Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

静岡新聞

COP21での合意に期待が集まるのは、近年、強い台風や集中豪雨、干ばつや熱波などの異常気象が世界で相次ぎ、各国で温暖化の悪影響に対する危機感が高まっているためだ。日本でも大雨や猛暑日が増えるなど、既に異変は起きている。

2013年11月、台風30号がフィリピン中部を直撃し、死者6200人以上の甚大な被害を出した。10年6～8月、ロシア西部では熱波や干ばつにより小麦生産が減少、価格が高騰し世界に影響をもたらした。07年4～8月には欧州を襲った高温や熱波で300人以上が死亡した。

日本でも、最高気温が35度以上の猛暑日の日数が過去80年で増加。14年8月、広島市で最大1時間降水量101ミリという観測史上最高の降水量を記録し、土砂災害で70人以上が死亡した。また今年は7月の熱中症による緊急搬送者数が7月の記録としては過去最多となった。

中東やアフリカから難民が欧州に流入する問題は、シリアやソマリアなどで頻発する干ばつが要因の一つとなっているとの指摘もある。

世界銀行は、地球温暖化にうまく対応した施策が取られないと、世界の貧困層は30年までに1億人増加する可能性があるとの報告書を公表した。国際環境保護団体「FoE Japan」の小野寺ゆうり顧問は「歴史的な干ばつで収穫できず、土地を捨てざるを得なくなった人々がいる。今後も気象の影響による移住は増えるだろう」と話す。

こうした事例を踏まえ、各国は既に表れ始めた温暖化の悪影響に適応するための対策を検討。COP21でも、適応策は合意の主要素の一つとなる見込みだ。

猛暑、台風、干ばつ… 世界各地で異常気象

2015年11月19日朝刊

①異常気象には、どんなものがありますか。4つ答えましょう。

[　　] [　　] [　　] [　　]

②日本では、どんな異変がおきていますか。

[　　]

③温暖化を防ぐために、家庭でできることを考えましょう。

[　　]

年　　組　　名前

（小学校高学年　社会・理科・総合、中学校・高校　理科・総合）